

緑区地域福祉保健計画を策定しています。ぜひ一緒に考えてみましょう!



地域福祉保健計画って?

誰もが安心して自分らしく暮らし続けられるまちをみんなでつくっていく、それが地域福祉の目的です。身近な地域の生活課題やアイデアなどをみんなで話し合い、ともに支え合うしくみを、区民や民間事業者・社協と行政が協働して進めていくために地域福祉保健計画をつくります。

いつどこで行われるの?

横浜市は昨年5月に市計画を策定しました。緑区では平成16年から17年度で区計画を策定します。担当事務局は区役所福祉保健課事業企画係と区社会福祉協議会です。

だれがどんなことするの?

16年7月に地域の様々な立場の方から選ばれた委員と公募委員からなる策定委員会が立ち上げられました。区民の様々な意見を収集し、地域福祉保健計画を策定しています。

ここがポイント!!

地域や福祉団体の方々からアイデアや意見をもらい、素案を策定委員会がつくり、それをまた、地域や福祉団体の方々へ検討していただく「区民自身がつくる手作りの計画」「実現に向かって具体的、現実的な計画」にしていくことがこの計画のポイントです。

現在区民から様々な意見・アイデアが出されています。今回はそのほんの一部を紹介させていただきます。

< 地区別意見交換会でこんな意見が出ています >

*11地区連合自治会単位で参加者を募集し、地域福祉に関する問題点やアイデアを各地区2回にわたって自由に話し合っていました。(延べ808人が参加)

- 高齢者・子ども・障害者等のために地域安全マップをつくったらどうか。
- 身近な地域の情報が手に入る地区版タウン情報誌をつくってみたらどうか。
- 一人暮らし高齢者の災害時の避難、ゴミ出し援助の協力が地域に求められている。
- 地域の子どものふれあいがなくなり、他人の子どもに声をかけたり注意したりすることが少なくなっている。
- 若い人たちが地域の中に積極的に参加してみたい町活動を作っていく。
- 福祉について身近に相談できる場所・人がいない。
- 子育て中の父親が地域に参加できるしくみづくりができればいい。

< 活動団体別意見交換会でこんな意見が出ています >

*地域で活動している障害福祉団体、子育て支援グループ、民生委員、ボランティア、高齢者の人たち等に集まって話し合ってもらい、意見をいただきました。(1月25日現在、24団体342人)

- ボランティアを必要としているが、なかなか集まらない。(障害福祉団体)
- 幼児のプレイルームなどに高齢者の方が参加してくれれば見守りにもなるし、交流につながると思う。(子育て支援グループ)
- 地域に情報を提供していくということとプライバシーを守ることによって狭間にたたされ、難しい状況にある。(民生委員)
- ボランティアセンターも区に一カ所というのではなく、生活しているエリアに1カ所あれば、地域で参加する人が増えるのではないかと。(ボランティア)
- 個人の依頼に対応していくには、その人との信頼関係を築くのが先決。(NPO団体)
- 昨今子どもの被害が増えているが、登下校に元気な高齢者が付き添いボランティアをする方法もあるのではないかと。(元気高齢者)



みどりちゃん

社会福祉協議会では16年度から区役所と協働でこの地域福祉保健計画を作成すると共に地域福祉活動計画を作成します。地域住民がどんな活動をしていけばよいかをみなさんと一緒に考えていきます。ご意見・ご提言をお願いします。

地域福祉保健計画のホームページは

<http://www.city.yokohama.jp/me/midori/fukuho/index.htm>

地域福祉保健計画へのご意見は

md-fukuhoplan@city.yokohama.jp へどうぞ

福祉お役立ちBOOKの紹介

横浜市地域福祉計画

一人ひとりの「私にできること」が積み重なって誰もが安心して暮らせるまちになる

横浜市が昨年6月に発行した地域福祉計画です。(無料・在庫有り)



あなたの街のささえあい

緑区高齢者と障害児・者のための地域活動グループのご紹介

横浜市が昨年6月に発行した地域福祉計画です。(無料・在庫有り)



よこはま市民活動

イエローページ2004

福祉市民活動の必携バイブルです。市内のボランティア非営利団体が30種類約670団体掲載。(定価1500円・在庫有り)



上記お役立ちBOOKが必要な方は、緑区社協に在庫を確認してから窓口に取りに来て下さい。